

2017

第 15 回 インテルステノ
オンラインタイピング世界大会
ルール（日本国内参加者向け編集版）



大会期間 2017年4月17日(月)～5月9日(火)



0. はじめに

Intersteno (インテルステノ/国際情報処理連盟) は、1887 年より活動している歴史ある団体で、二年ごとに開催しているオフラインの世界大会に加え、毎年春にオンライン世界大会を開催しています。本書は、このオンライン世界大会のルールを説明するものです。

この大会の目的は、参加者のタイピングの熟練度向上はもちろん、志を同じくする世界中の人と公正かつ健全に競いあえる大会を提供することです。一般的なパソコン用のキーボードでも、機械速記用キーボードでも参加できます。

2. 競技概要と年齢区分

大会では、www.intersteno.org で配布されている Taki ソフトウェアまたは Zav ソフトウェア (Zav は日本語部門非対応) を用いて、10 分間の入力文字数と正確性を競います。日本語部門は、1 文字の重みが他言語と異なるため、入力した文字数に係数 2.2607 を乗じた値を「文字数」として取り扱います。本係数は Intersteno と議論を重ねた上で合意した今大会用の値です。係数の算出にあたっては様々な要素があり、参加各国との合意形成において万人が納得する値を算出することは大変難しく、次年度以降も引き続き調整を続けます。

結果は次の年齢区分 (生まれ年基準) によってランキングが異なります。尚、現在の Intersteno では、年齢層に応じて問題文を分けることができないため、日本語部門では小学生等、漢字の学習過程にある年齢層の方には厳しい条件となっております。この点は次年度以降に対処策を検討していきます。

- 12 歳以下 (生まれ年が 2005 年以降)
- 13~16 歳 (生まれ年が 2001~2004 年)
- 17~20 歳 (生まれ年が 1997~2000 年)
- 21 歳以上 (生まれ年が 1996 年以前)

また、以下の速度/正確性を満たさなかった場合、失格となります。日本語部門は、入力した文字数に係数 2.2607 を乗じた上でこの基準を満たせなかった場合に失格となります。

- 12 歳以下: 分速 150 文字以上、ミス 1%以下
- 13~16 歳: 分速 180 文字以上、ミス 1%以下

.....

- 17～20 歳： 分速 200 文字以上、ミス 1%以下
- 21 歳以上： 分速 240 文字以上、ミス 0.5%以下

3. 競技の開催

Intersteno では、原則として学校および各種団体、または各国の Intersteno Group を経由して参加いただきます。今大会では、日本では「全日本タイピスト連合 (ALL JAPAN TYPIST)」が団体としての任を負います。各学校・団体の責任の責任者は、公正に競技を実行する責任があり、各国の Intersteno Group は各々担当する区域の大会が公平に行われるよう監督する責任があります。

4. 競技形式と練習

競技への参加に際し、以下二つの部門があります。

- 母語部門：母語の一部門のみ参加
- 多言語部門：全 17 の言語のうち、複数の言語への参加

競技者は、それぞれの言語に対して 1 回だけ競技を行うことができます。1 つの言語に対して複数の種類 (方言等) が存在する場合、その内 1 つだけに参加できます (例えば、ドイツ語とスイスドイツ語のようなケース)。1 つの言語に対して Taki と Zav ソフトウェアの両方を使用して競技を行った場合、2 度目に行った競技の結果は成績に反映されません。

なお、多言語部門に参加する場合に、ある言語については Taki を利用し、別の言語については Zav を利用する、といった併用は認められています。Taki と Zav による各言語の練習は、ソフトによる各言語の練習は www.intersteno.org の「Competitions」⇒「Internet Contest」⇒「Training」より何度でも行えます。

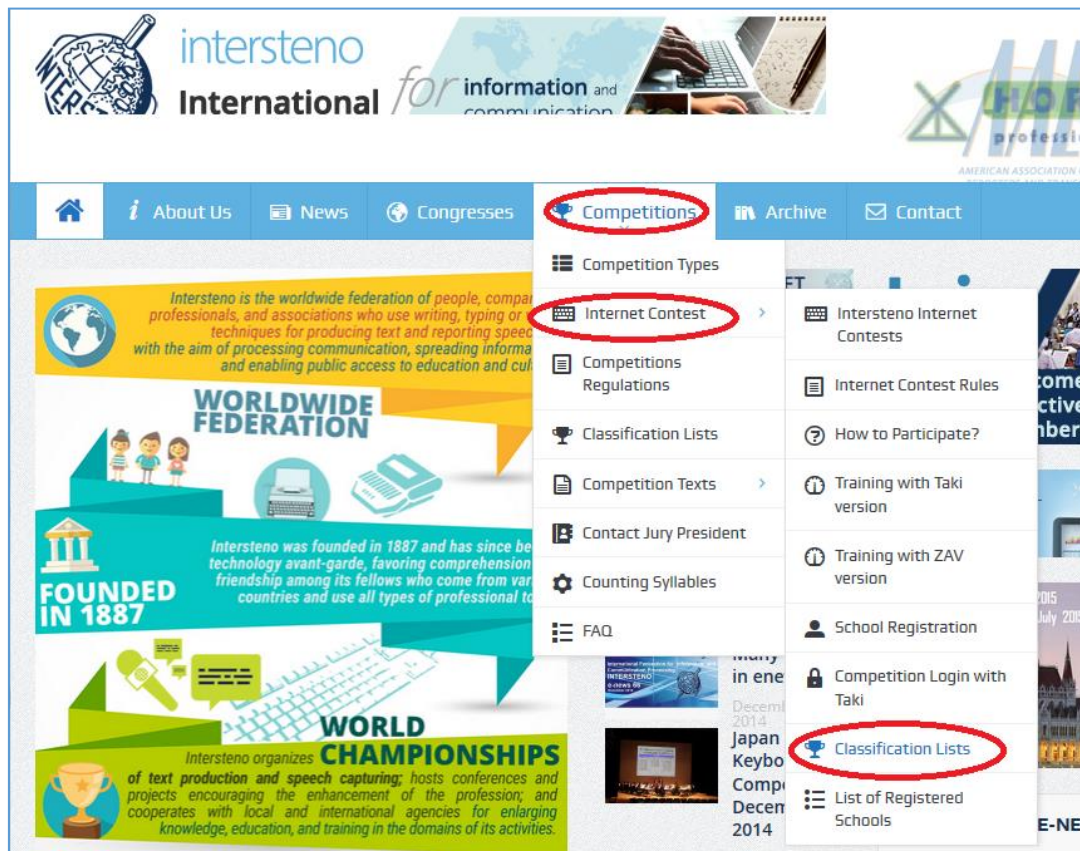
日本語を母語とする方が英語部門に参加する場合は、例え一言語だけの参加であっても (日本語部門を受験しない場合であっても)、多言語部門に登録頂く必要があります。

5. 評価とランキング

1 つのミスにつき、合計文字数から 50 をマイナスします。Taki を使用した場合にはランキングはリアルタイムで更新され、Zav を利用した場合には一日に一回まとめて更新されます。また、失格となった参加者を表示することもできます。失格となった言語のスコアは 0 点として計算されます。

.....

ランキングは、<http://www.intersteno.org/>にアクセスし、Competitions -> Internet Contest -> Classification Lists を選択より参照することができます。次の画面の言語選択で「日本語」を選択することで、以降日本語で表示されますので、説明は省略します。



6. メダルと認定証（隔年にてオフライン大会にて受取？調整中）

失格にならなかった競技者は、後日 Intersteno より認定証を受け取ることができます。この認定証は PDF 形式で各国の Intersteno Group、または各学校・団体へ直接送られます。今大会では、全日本タイピスト連合が窓口となって受け取り、参加者に送付します。また、それぞれの年齢区分の上位 3 名にはメダルが贈呈されます。尚、3 名以上の参加者を登録した各学校・団体には、参加賞として認定証が PDF 形式で送られます。

7. ソフトウェアの不正使用

大会に登録した各学校・団体の代表者および参加者は、Intersteno の全ての規則、および各国の法律に同意したとみなされます。虚偽の申告、ソフトウェアの動作の妨害、およびハッキング行為を行った場合、大会からは自動的に失格となり、今後の大会にも

.....

参加できなくなる可能性があります。法律に違反する行為を行った場合、各地の捜査当局へと通報することもあります。悪質な場合には、不正行為を行った方の氏名を公表します。

Intersteno では、厳格な不正検知プログラムと操作ログの取得をしており、ログの詳細を人の目でも確認することで、不正の排除取り組んでいます。

8. 責任

Intersteno の役員会は、ルールの解釈など、大会運営上必要となる全ての最終的な決定権を持ちます。

9. スケジュール

登録期限は 2017 年 4 月 16 日(日)、大会期間は 4 月 17 日(月)～5 月 9 日(水)です。

10. 参加費

昨年までは、トライアル的な意味合いや参加促進を兼ね、参加費を免除しておりました。このトライアル的な状態は現在も変わっていない一方で、申込みだけをして受験をされない方が散見されたこと、また国ごとに課せられる Intersteno の会費の捻出もあり、今年は参加費を徴収することとしました。

母語部門は 570 円 (≒5 ユーロ)、多言語部門は 800 円 (≒7 ユーロ) とし、銀行振込のみ受け付けます。振込方法については受験要綱をお送りする際にお知らせします。尚、過年度に数年分をまとめて入金されている方は、今回の振込は不要です。

11. 申込み方法

今大会では、日本からは全日本タイピスト連合 (ALL JAPAN TYPISTS) を登録団体として参加申請をしています。こちらのフォーム (<https://goo.gl/d4LKwh>) より参加申し込みをしてください。

12. 特に注意が必要となる仕様およびルール (必読)

12.1. Taki ソフトウェアの仕様

- 切り取り、貼り付け等の機能は使用できません (禁止)。
- 課題文を自分で任意にスクロールすることはできません。
- マウス、及びキーボードの矢印キー (カーソルキー) を使った入力位置の移

.....

動ができません。

- 入力確定後は **Backspace** キーによる削除しかできません。マウスを使った移動や、**Shift+矢印**キーで複数の文字列を選択して **Backspace**、といったこともできません。この為、日本語部門において複数の文節を一度に入力する場合などは、入力を確定する前に、入力誤りや変換誤りがないことを確認し、誤りがあれば確定前に修正を行うことを強く推奨します。文中に誤りがあった場合、**Backspace** キーの必要数が増え、大きなタイムロスを招きます。
- 一定時間 (約 30 秒) 入力が行われないと、競技時間が残っていても競技が終了します。また、日本語部門においてブラウザに **Firefox** をお使いの方は、**Enter** キーまたは **Esc** キーが約 30 秒間押されないと終了する不具合が発見されています。普段から **Enter** キーを使わずに入力をされている方は、他のブラウザを使ってご参加ください。
- 競技終了時点で、未確定の文字列 (入力中または変換中の文字列) があった場合、それは採点対象となります。例を挙げると、本来「今日」と入力すべき箇所において、「きょう」と入力している (変換前の) 状態で終了時間を迎えてしまった場合、これは誤字としてみなされます。この為、競技時間を意識し、特に最後の数秒はこのようなミスが発生しないよう注意してください。

12.2. IME

- 利用する IME に制約はありません。MS-IME、ATOK、Google IME 等、普段お使いのもので参加頂けます。
- 学習機能は、意図的に機能を無効にする必要はなく、これまでに学習されたデータをリセット頂く必要もありません。普段お使いの範囲で使用可能です。但し、入力した打鍵数に比して、これを大幅に超える文字数を入力させるような辞書登録 (「あり」と入力することで「ありがとうございます」と変換するようなもの) については、競技中は使用しない、または予め削除してください。
- 予測変換機能は、機能を無効にしてください。前項の過剰な辞書登録を含め、入力ログ等から使用が認められた場合には、しかるべき措置を取ります。

.....

12.3. 課題文（共通）

- 各言語の練習課題において、誤字・スペースが 2 回続いている・当該言語では存在しない記号が出題されている、等の誤りが含まれていることがあります。皆様のご協力により、既に数十の誤りが確認され、Intersteno 側へ指摘の上、修正されています。今後も誤った文章を見つけられた場合には、ぜひご連絡ください。
- **Intersteno の本番競技は、全て初見（事前に課題を公開しない）という条件のもと、受験頂きます。受験を終えた後、他者に対し課題文に関連する事項（出題された内容、文章、漢字、記号等に関する一切の事項）を公開することを禁止します。練習と同じ感覚で Twitter 等の SNS に画像を貼らないようにする等、十分にご注意ください。**

12.4. 課題文（日本語部門）

- 課題文に含まれている英数字と記号は全て全角です。
- 文中に改行およびスペース（空白）は含まれません。
- 他言語、及び年度ごとの公平性を保つべく、課題文の漢字含有率や用字用例については、一定のルールに基づき調整しています（具体的な基準及び値は非公開）。
- 本番の課題文で使用する漢字は、平成 22 年内閣告示第 2 号として告示されている常用漢字 2136 字に限定しています。
- 今年度の本番の課題文で使用する記号は、長音符（ー）、句点（。）、読点（、）、中点（・）、括弧（（および））、鍵かっこ（「および」）、パーセント（%）、おどりじ（々）に限定しています（次年度以降に変更する可能性があります）。
- 尚、現在実装されている練習課題については、上記のルールは適用されていません。例えば、誤解を招きやすい記号であるー（ダッシュ）が使われている課題が含まれています。

12.5. 課題文における漢字と受験年齢についての問題

- Intersteno には受験にあたり年齢制限がなく、12 歳以下の枠もあります。一方、年齢によって課題文を分けることはできません。前述の通り、本番の課題文については「漢字は常用漢字（2136 字）しか使用しない」という仕様になっているものの、参加者の年齢によっては常用漢字全てを習い終えているわ

.....

けではなく、読めない漢字が多数出てくる可能性があります。

- 現時点では「常用漢字」の読みを覚えて頂くか、英語等の他言語にご参加頂くより対処法がないのが正直なところです。今後ルビを振る、ローマ字部門を設ける等、可能性を模索します。

12.6. 多言語部門への参加について

- 複数の言語を受験される方において、配列を変更することで、より効率的な入力が可能となることを認識しています。Intersteno では、この配列変更を認めています。具体例としては、Microsoft Keyboard Layout Creator や、OS の標準機能などを利用し、配列を変更することができます。
- 変更之际は、「ドイツ語や東欧の言語等で使われている QWERTZ 配列の Z と Y を入れ替えて QWERTY 配列に変更する」や、「左 Shift と Z の間にあるキーを、別のキーに割り当てる」といったものを想定しており、「一つのキーを押すことで、複数の文字を入力する」といった変更は認められません。
- 参加者の一人である「かり〜氏」の発案により、Intersteno の多言語部門に参加する上で参考となる情報を集めた「多言語タイピング Wiki (<http://www7.atwiki.jp/multilingual/>)」が公開されていますので、参考にしてください。

13. 問い合わせ

日本語での問い合わせ先は、全日本タイピスト連合 隅野貴裕 (info@typist.jp) 宛にお送りください。英語で問い合わせをされる場合には、Intersteno の Website 上にある問い合わせ窓口に直接お問い合わせ頂いて構いません。

14. 本文の翻訳

本文書は、Intersteno にて公開されている英語のルールをベースにしていますが、単なる訳ではなく、日本からの参加者にとって不必要な情報を省く、わかりやすい表現に置き換える、必要な情報を追記するなどの手を加えておりますことご了承ください。

.....